

美術館所蔵作品のデータベース化

福森大二郎
大日本印刷(株)MCC

美術館が所蔵する作品を電子的な手法を用いて紹介する試みは、すでになんらかの美術館や博物館でも実現されているが、画像情報と文字情報を本格的に構築し、来館者の様々な情報ニーズに応えるデータベースとして一般に公開された事例は、岐阜県美術館が国内では最初の例である。さらに情報システムにハイビジョンを利用した点では、世界初の試みでもある。本稿では、岐阜県美術館データベースの概要について報告する。

Constructing an Image Data Base of an Art Museum's Collection

Daijiro Fukumori
Multimedia Communication Center
Dai Nippon Printing Co., Ltd.

Although several art galleries and museums have already implemented electronic systems to present their art, the art data base of the Gifu Museum of Fine Arts is the first in Japan open to the general public and designed to meet the various information needs of visitors.

Moreover, it is the first gallery data base in the world to use Hi-Vision (Japanese High Definition TV) image recordings. This report outlines the data base at the Gifu Museum of Fine Arts.

1. 導入の背景とハイビジョンギャラリーの概要

岐阜県美術館では、現在約2000点の美術品を所蔵しているが、展示スペースや作品保護の関係から、通常はそのごく一部の作品しか展示できないのが実情である。また美術館に求められるニーズも益々多様化する傾向にあり、こうした諸問題に応えるシステムとして、1989年4月、世界で初めて開設されたのがハイビジョンギャラリーである。

導入後の成果等についてはここでは省略するが、その概要は、以下の通りである。

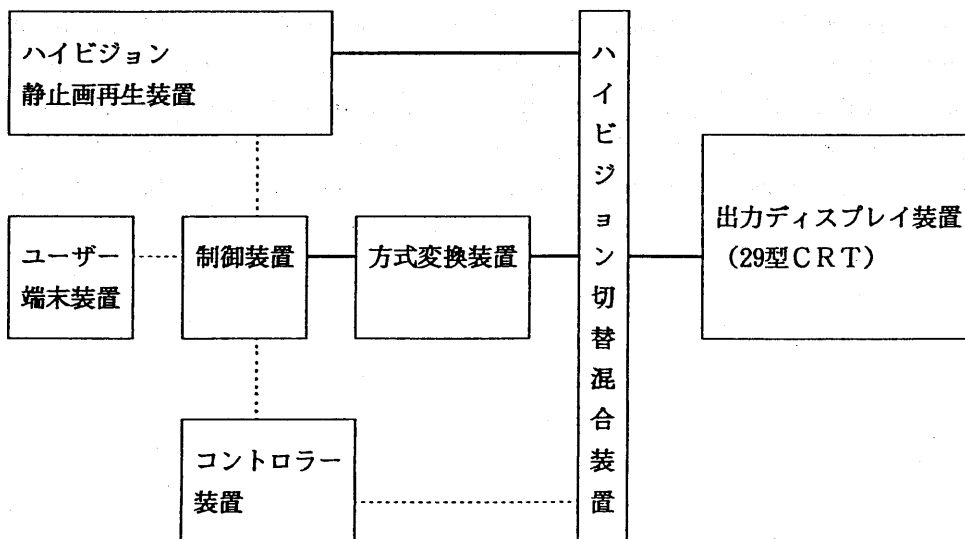
施設は、ハイビジョン静止画番組で作家や作品を解説・紹介する「ギャラリーⅠ・Ⅱ・Ⅲ」と所蔵作品や作家についての情報を来館者が自由に検索できる「データベース」で構成されている。

ギャラリーⅠ・Ⅱには、60インチ背面投写型ハイビジョンディスプレイ装置（固定席各3）、ギャラリーⅢには、120インチのディスプレイ装置（固定席42）が各々設置され、約5～6分の静止画番組30タイトル（岐阜県美術館所蔵作品による20タイトル及びNHKエンタープライズのプロデュースによるエルミタージュ美術館シリーズ10タイトル、さらに外人向けの英語版20タイトルも用意されている）を操作パネルから自由に選択・鑑賞できるようになっている。

データベースでは、29インチのハイビジョンモニター装置（固定席1）に、画像及び文字情報の双方が表示できるように設計されており、開設時約700点、本年3月末で約1100点の所蔵作品データベースが公開される予定である。

2. データベースの構築

(1) システムの概要



システム設計の基本コンセプトは、“簡単な操作性と運用性”である。利用者は、端末のマウスをクリックするだけで目的の情報画面に到達でき、運用側も電源スイッチの立ちあげだけでシステムが稼働できるよう配慮している。掲載写真には、キーボードが置かれているが通常は置かれておらず、特殊な運用（検索モードの切り替えや未公開情報を検索するためのキーワード入力等）の場合のみ使用されている。

システムの制御は、32ビットのパーソナルコンピュータで行ない、文字情報も現在はパソコンのハードディスクに記録している。画像情報はハイビジョン静止画像でCD-ROMにデジタル信号で記録している。

このシステムのもうひとつの大きな特徴は、先述のように全ての情報がハイビジョンモニターを介して得られることであり、文字情報も当初はパソコンの文字フォントをアップコンバートして表示した。現在は、高品位な文字が表示できる「ハイビジョン用文字発生装置」が開発され、その第一号機が導入されている。

(2)検索項目の策定

美術館が所蔵する作品のデータは、作品ごとに「データシート」に記録・管理されているのが一般的である。今回のデータベースの作成にあたっては、データシートの各項目を網羅するとともに、将来想定される他館との情報交流やネットワークにも対応できるようフランス文化省美術館局の作品データベースのデータ項目等も参照し、下記のように約50項目（原文項目を含む）を策定した。

〔検索項目〕

- 番号：登録番号、分類番号、備品番号、ディスク番号、ほか計6項目
- 作品：作品区分、タイトル、題材、技法、素材、ほか計7項目
- 制作：制作者名、生没年、誕生地・国、没地・国、流派・団体、学校・工房・師、制作者証明、制作依頼・指示、制作地、制作年代、制作年月、ほか計15項目
- 収蔵：現収蔵館名、住所、電話番号、収蔵場所、帰属年月、収蔵方法、ほか計7項目
- 来歴：売買来歴、展示来歴、修復来歴、ほか計4項目
- その他：作品解説、制作者履歴、関連文献資料、ほか計4項目

検索項目の策定後、各項目ごとに字数を設定し、CTS入力用のデータシートを作成、学芸員が担当作品の記述を担当したが、最大5000字にもおよぶ記入作業は容易ではなく、年次ごとのデータ更新でその内容が拡充されているのが実情である。画像データベースは、4×5インチのフィルムで撮影された原稿を印刷用のデジタルスキャナーで取り込み、ハイビジョン信号へ変換後、CD-ROMに記録している。現在はCD-ROMの読み出し速度の関係上、約¼に縮小したブローズ用画像を同時に記録している。

(3)データベース公開の実際

ハイビジョンによる所蔵作品の公開は、NTSC（現行テレビ方式）と比して格段の高品位画像を提供することはいうまでもないが（NTSC比では約5倍の情報量）、文字情報の提供も併せて考えると全てにおいて十全であることは、逆に利用者属性による検索性・利便性の点では、必ずしも有効性を発揮しないことが考えられる。

岐阜県美術館のデータベースシステムではこうした点を考慮して、現在、一般的な美術愛好家を対象とする「一般検索システム」と専門的な検索や学芸員の研究用に設けられた「専門検索システム」の2通りで運用されている。通常は、一般検索システムのみが公開されており、利用者は作品種別、制作年代、制作者名、表現内容の各項目から“and検索”で希望する作品の情報が得られるようになっている。専門検索では、作品に関する来歴や関連文献資料等、より専門的な検索ニーズにも対応可能なシステムが構築されており、“and, or検索”の他、一部キーボード入力による条件設定にも対応できるシステムとなっている。

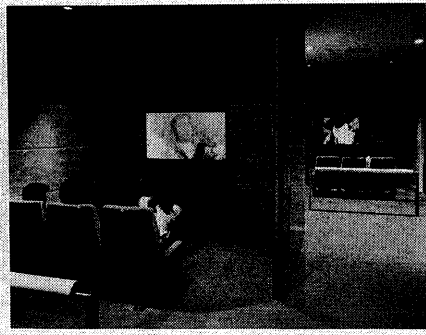
また本データベースの情報を集団学習や講演会等でも利用できる「プレゼンテーションシステム」用のソフトも用意されており、美術館の啓蒙普及活動にも寄与するシステムとして幅広く運用されている

3. 今後の展開

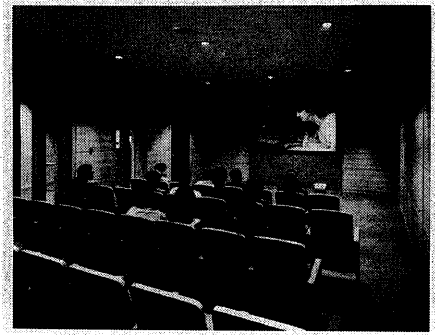
先にも述べたように、当初のパソコンによる文字に代って、「ハイビジョン用文字発生装置」が導入されたことは、本データベースにとっても大きな福音であった。実際に、解像度の点でみると、16×16ドットの文字は、40×40ドットに改善され、大日本印刷が保有する“秀英書体”による文字情報が整然とハイビジョンモニター上に表示されている。希望者には付設のプリンターからアウトプットされるとはいえ、やはり画面上に高品位な状態で文字情報が表示されることは、公開を前提とするシステムであるがゆえに重要なファクターであると言えるだろう。

美術館におけるデータベースの構築と運用は、まだまだ、その途に就いたばかりである。また、ハイビジョンを利用したより効果的で経済的なシステム展開や利用者インターフェースの開発といった課題も数多く残されている。しかし、一方で限られた展示スペースや予算、ニーズの多様化といった諸問題も、今日の美術館が抱える極めて日常的な課題であり、来館者に開かれたデータベースの構築はその有効な解決法のひとつであることは言うまでもない。

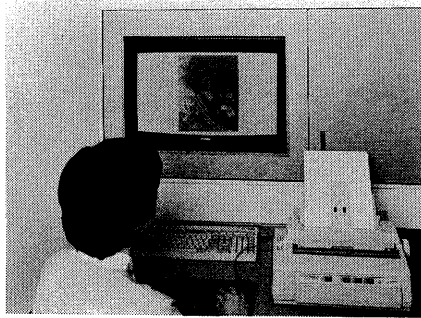
岐阜県美術館での事例がそのモデルケースとして（或いはひとつの規範として）、今後様々に展開されていくことを開発者の一人として期待している。（了）



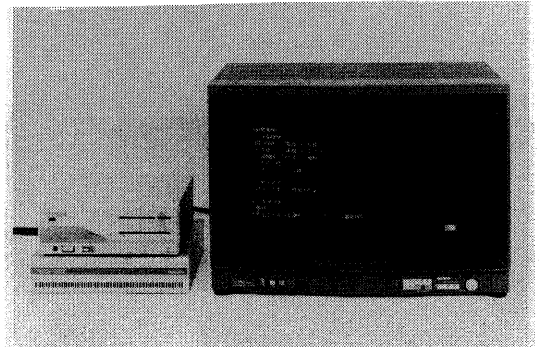
ギャラリー I・II



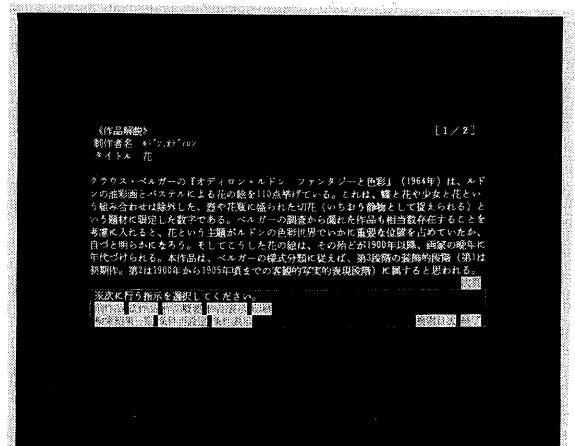
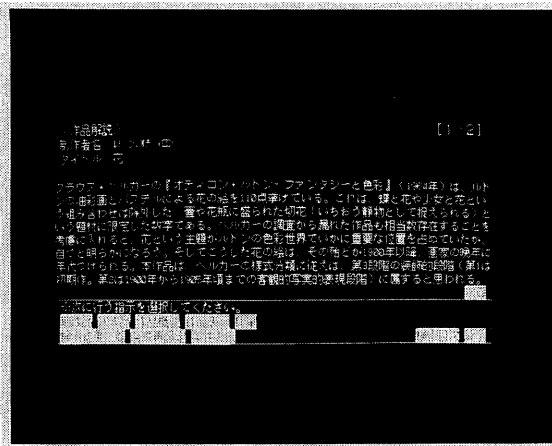
ギャラリー III



データブース

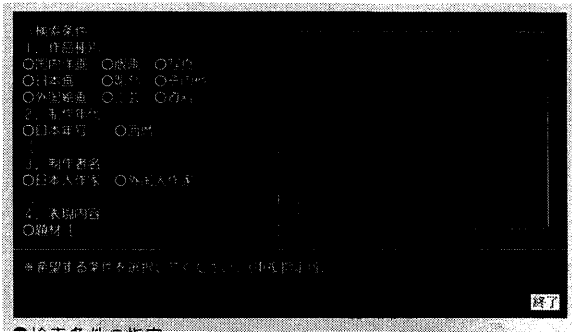


ハイビジョン用文字発生装置

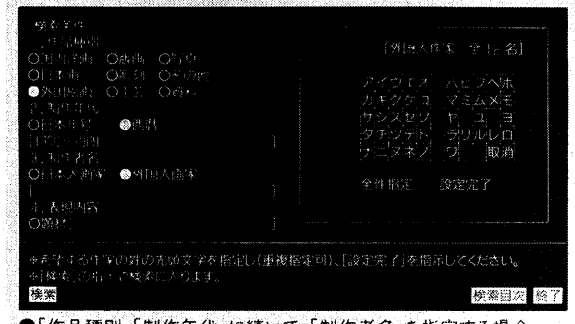


パソコン文字のアップコンバート表示(左)とハイビジョン用文字発生装置による表示(右)の比較

[一般検索のフロー]



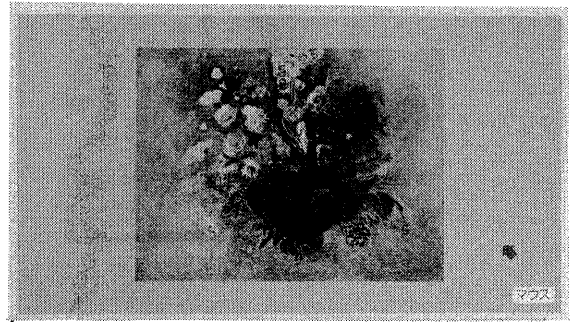
● 検索条件の指定



● 「作品種別」「制作年代」に続いて、「制作者名」を指定する場合



● 「作品概要」を指示した場合



● 「作品表示」を指示した場合